

犀川の石ころ標本

さい1



さい5



さい9



さい13



さい17



さい2



さい6



さい10



さい14



さい18



さい3



さい7



さい11



さい15



さい19



さい4



さい8



さい12



さい16



さい20



犀川の石ころ標本ラベル

<p><u>さい 1</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩 (黒いもよう)</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう ホルスタイン牛のような模様がある。黒い模様の正体は、白い花崗岩マグマの中に入ってきた黒っぽいはんれい岩マグマ。</p>	<p><u>さい 5</u></p> <p>石の名前 <u>溶結凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 白い粒 (斜長石) がとても多いけど、よく見ると黒っぽい凸レンズの断面のような模様 (溶結レンズ) が見える。</p>	<p><u>さい 9</u></p> <p>石の名前 <u>ホルンフェルス</u></p> <p>石の区分 <u>接触変成岩</u></p> <p>石のとくちょう 一見、泥岩のように見えるけど斑点がある。</p>	<p><u>さい 13</u></p> <p>石の名前 <u>流紋岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 白っぽい部分と灰色の部分がしまもようのように見える。石英の斑晶 (半透明の灰色の粒) が入っている。裾花層。</p>	<p><u>さい 17</u></p> <p>石の名前 <u>砂岩を含む泥岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 白っぽい部分が変形している (一部ちぎれている)。白っぽい部分は砂岩やチャート。</p>
<p><u>さい 2</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石 (等粒状組織の岩石の典型例) ピンク色の結晶 (鉱物) はカリ長石。</p>	<p><u>さい 6</u></p> <p>石の名前 <u>安山岩 (赤)</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 黒い粒 (輝石) や白い粒 (斜長石) の様子は「さい 7」に良く似るが、赤っぽい。</p>	<p><u>さい 10</u></p> <p>石の名前 <u>斑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩と火山岩の間</u></p> <p>石のとくちょう 緑っぽい。白い粒 (斜長石) が目立つ。安山岩に比べ、緑っぽい部分 (石基) が粗い。千曲川の「ちくま 7」より粗い。</p>	<p><u>さい 14</u></p> <p>石の名前 <u>溶結凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 白くて軽い。ざらざら。軽石の粒が集まってできている。軽石は穴がたくさんあいているので軽い。裾花層</p>	<p><u>さい 18</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。白っぽい。</p>
<p><u>さい 3</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石 (等粒状組織の岩石の典型例) カリ長石が白いので全体的に白っぽい。</p>	<p><u>さい 7</u></p> <p>石の名前 <u>安山岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 灰色の中に大きい黒い粒 (輝石) と白い小さい粒 (斜長石) が混じる (斑状組織の典型例)。</p>	<p><u>さい 11</u></p> <p>石の名前 <u>凝灰角礫岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山砕屑岩</u></p> <p>石のとくちょう 石の中に角ばった石 (安山岩) が入っている。入っている石の色がいろいろある (赤・青・黒・白)。</p>	<p><u>さい 15</u></p> <p>石の名前 <u>砂岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。黒っぽい石 (泥岩) のかけらが入ることもある。砂が固まった岩石。</p>	<p><u>さい 19</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。黒っぽい。</p>
<p><u>さい 4</u></p> <p>石の名前 <u>閃緑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 花崗岩の仲間 花崗岩に比べ黒い粒 (黒雲母や角閃石) が多いため黒っぽく見える。</p>	<p><u>さい 8</u></p> <p>石の名前 <u>安山岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 「さい 7」に比べて白っぽい。光る細長い黒い粒 (角閃石) が見える。</p>	<p><u>さい 12</u></p> <p>石の名前 <u>溶結凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 黒っぽい中にレンズのような形をした灰色の部分 (溶結レンズ) がたくさん見られる。</p>	<p><u>さい 16</u></p> <p>石の名前 <u>泥岩 (頁岩)</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 粒は見えない。 つや消しブラック。 泥が固まった岩石。</p>	<p><u>さい 20</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。ぬらすと少し透明な感じがする。赤っぽい。</p>

犀川の石ころの特徴

梓川（北アルプス南部）と高瀬川（北アルプス中部）の石ころがブレンドされているので灰色っぽい石ころと白っぽい石ころが混じる。

梓川と高瀬川を上流にもつので、中学校で習う岩石は、ほぼ全て観察可能。残念ながら石灰岩だけは、他の礫に希釈されてしまい、見つけることは不可能に近い。

変成岩はホルンフェルス（接触変成岩の一種）くらいしかないが、火成岩と堆積岩は多種多様なものがあるので、岩石の観察に適している。

糸魚川-静岡構造線よりも東側の山地（フォッサマグナ）の岩石（約1500万年前～300万年前の砂岩や泥岩）はあまり礫として含まれない。これは新しい砂岩や泥岩はまだやわらかいので、砕けてしまいあまり大きな礫として運ばれないことを示している。ただし、長野盆地の西側に露出する裾花層（凝灰岩や流紋岩）の礫（さい13・14）は比較的たくさん見られる。しかし、すぐ近くから運ばれてきているのであまり丸くない（亜角礫）。これに対して糸魚川-静岡構造線の西側にある北アルプスから運ばれてきた砂岩（さい15）などは、かなり丸い形をしている（円礫～亜円礫）街中を流れているので、観察しやすい。

犀川の河原



犀川の石ころ



犀川と北アルプス（鹿島槍ヶ岳周辺）

犀川の石ころは梓川・高瀬川上流の北アルプスから運ばれてくる。

爺ヶ岳

鹿島槍ヶ岳

五龍岳

長野市丹波島橋より

